

学校研究全体計画

1 研究主題

主体的に学び続ける子の育成
～「やってみたい！」を生み出し、達成感につながる国語科授業づくり～

2 主題設定の理由

昨年度は、研究主題を「自ら課題を見つけ、主体的に学ぶ子の育成～学習を子どものものにする国語科の単元デザインの工夫～」とし、授業研究を進めてきた。

国語科の学習を軸に児童が主体的に学べるようになるために、①単元デザインの工夫、②対話的な場の設定、③学びの自覚化に重点を置いて実践を重ねた。指導事項をもとに、ねらいとする言語活動に到達するために必要な活動を、教師は構想できるようになった。また、学習の目的を児童と共有して進めたことで、児童が学習方法を調整しながら学ぶ姿も多く見られた。学校司書と連携しながら全学年が並行読書に取り組んだことで、教科書教材だけでなく、自分で選んだ作品を読み深め、主体的に学習することができた。

しかし、児童アンケートの「国語科の学習が『楽しい』と感じるか」という項目では、肯定的に回答した児童は全体の 78.9%であった。一昨年よりも国語科の学習意欲の高まりは感じるが、言語活動がパターン化されていたり、児童の実態と整合していなかったりと、児童の意欲を生み出すものになっていないのではないかと考えられる。児童がより主体的に学びに向えるようにするためには、言語活動をさらに吟味する必要がある。

以上のことから、今年度は研究主題を『主体的に学び続ける子の育成～「やってみたい！」を生み出し、達成感につながる国語科授業づくり～』と設定する。児童から「やってみたい！」を生み出し、ゴールまでつなげるために、①単元デザインの工夫、②個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、③学びの自覚化に重点を置いて研究を進める。児童一人ひとりが学習の主役になり、誰一人取り残さず力を付けていけるよう、実態やつまずきを深く見取り、適切な手立てを検討していく。児童が自分事として学習を進め、学びを自己調整しながら楽しくかつ力を付けていく授業づくりを目指したい。

3 研究組織



4 研究内容と方法

主体的に学び続ける子の育成
「やってみたい！」を生み出し、達成感につながる国語科授業づくり

(1) ゴールに向かう単元デザイン

① 付けたい力に合った言語活動の設定

- ・ 資質・能力を身に付けた児童の姿の具体化
- ・ 目的意識（何のために）、相手意識（誰に向けた）のある言語活動の設定
- ・ 児童の成果物等の蓄積と活用

② 「やってみたい!」「できた!」と思える単元デザイン

- ・ 子どもの「やってみたい!」を引き出し、学ぶ意欲を継続させる工夫
- ・ 児童が活動の見通しを持てる学習計画の共有
- ・ 既習を活用しながら学習を積み上げるための系統的な学びの重視

(2) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

① 個の学びを深い学びにつなげる交流の場の充実

- ・ 自らの学びを調整できる授業構想の工夫
- ・ 目的に応じた交流相手の選択
- ・ 協働的な学びを生かした自己の学びの再構築

② 誰一人取り残さない見取りと適切な支援

- ・ 児童のつまずきや実態に合わせた手立て
- ・ 具体的な子どもの姿を想定した教師の関わり

③ 子ども一人ひとりに応じた学習環境の整備

- ・ 自分の考えをもって取り組むためのワークシート、全文シートの工夫
- ・ 並行読書本、資料などの選定
- ・ 言語活動例やモデル動画等の提示・活用

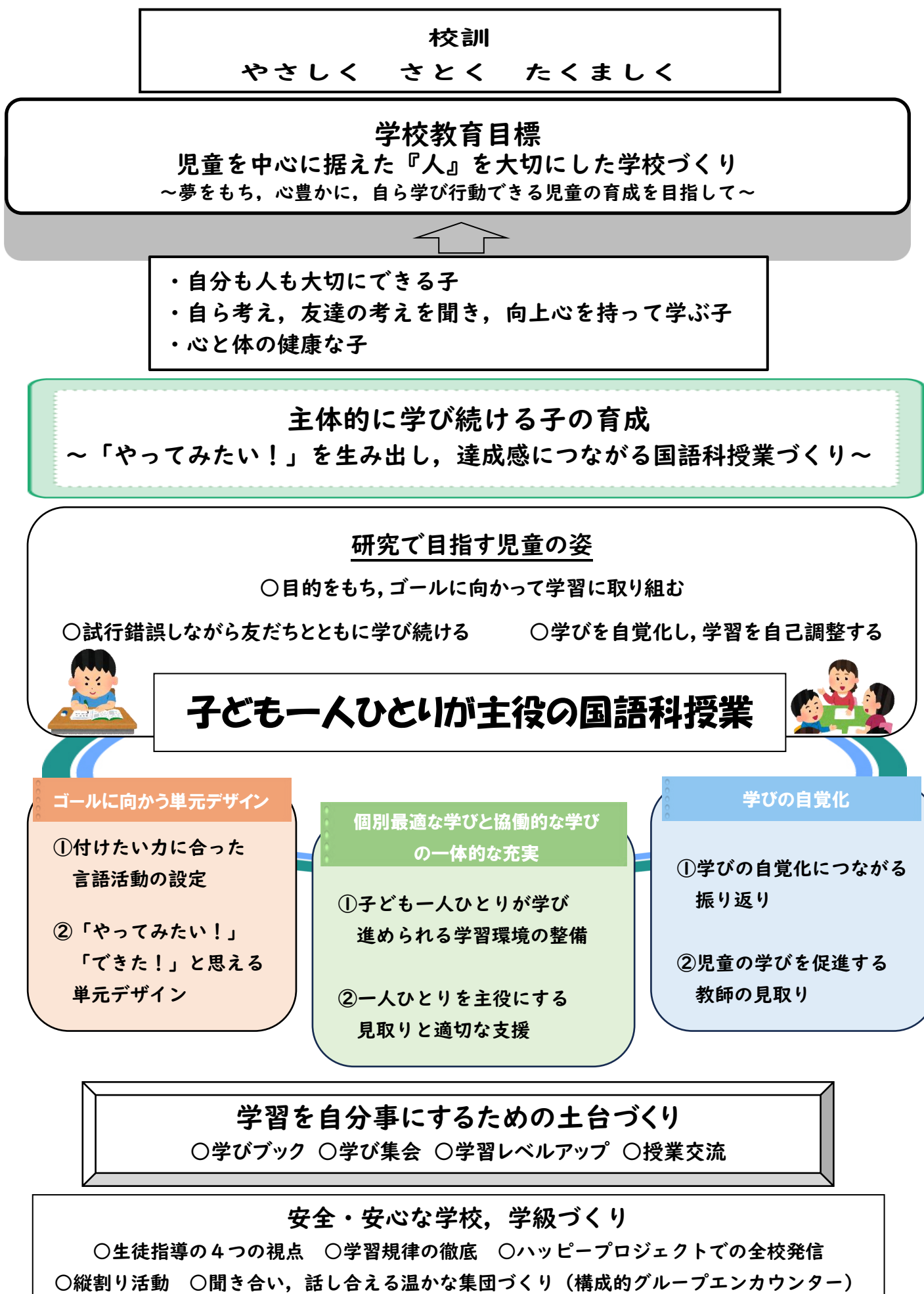
(3) 学びの自覚化

① 学びの自覚化につながる振り返り

- ・ 学習内容と学習方法の視点を入れた振り返り
- ・ 視点を明確にした具体的な振り返りの提示

② 児童の学びを促進する教師の働きかけ

- ・ ふり返る時間の効果的な設定
- ・ 児童の実態を捉えた教師のフィードバック



6 研究計画

月	日	全体会
4	7	・研究全体会【今年度の研究方針と計画】 研究の基本方針，研究主題・副題の決定，研究組織，研究内容と方法，研究計画，合同研修会の進め方等の提案
	14	単元デザインシート，学習指導案の書き方についての説明 ・学び集会【目指す授業について】
5	1	・提案授業（研究授業① 4年），授業整理会①
	7	・学び集会【1年間のめあてについて】
	18	・授業交流週間（単元デザインシートの作成）
6	1	・授業交流週間（生徒指導主事による授業公開）
	12	・事前授業研究（模擬授業研究）（6年）
	22	・研究授業及び授業整理会②（6年） 上月 敏子先生（芦屋大学特任 教授）による指導助言
7	3	・国語アンケートの作成・集計
	24	・研究全体会【1学期の成果と課題の検証と2学期の共通実践】
8	21	・事前授業研究（模擬授業研究）（3年） ・小松教育事務所要請訪問 授業づくりについて
9	1	・学び集会【1学期の振り返り，2学期の取組について】
	15	・研究授業及び授業整理会③（3年）
	29	・事前授業研究（模擬授業研究）（2年）
10	7	・研究授業及び授業整理会④（2年）
	29	・事前授業研究（模擬授業研究）（5年）
11	18	・計画訪問（5年 研究授業及び授業整理会⑤）
	20	・事前授業研究（模擬授業研究）（4年）
	24	・授業交流週間（国語科授業公開）
	27	・研究授業及び授業整理会⑤（4年） 水戸部 修治先生（京都女子大学 教授）による指導助言
12	18	・国語アンケートの作成・集計③
1	6	・研究全体会【2学期の成果と課題の検証と3学期の手立て】 ・研究紀要の作成
	26	・事前授業研究（模擬授業研究）（1年）
2	2	・研究授業及び授業整理会⑥（1年） 小松教育事務所要請訪問
	26	・研究全体会【今年度の反省と来年度の方向づけ】
3		・研究全体会【来年度の研究構想】